

平成26年度 事業別予算概要

事業名	20551	広報広聴事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の着実な推進をめざして	根拠計画	市長公約	多様な媒体を活用して行政情報の公表、公開、提供を行い、情報公開日本一を目指します 11「市民が知りたい行政情報を迅速に得られるよう、提供媒体の整備を行います。人と人、市民と行政、地域と地域がつながり、互いに話し合える場を積極的につくり出す」 ・政策決定に市民の積極的な参加を促進するため、政策検討市民委員会を創設し、行政の事務事業や各種条例規則等の必要性、有効性を検証し、見直しを提案できるようにします。
	課			2	総務費	分野		1	市民参画	実施計画事業			
担当課	企画管理部 企画課		内線	項	1	総務管理費	基本施策	1	市民と行政が協働してまちづくりに取り組む	H26実施計画額	92,500	千円	
			2468	目	5	広報費	施策	1	行政情報の提供				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活に役立つ情報や必要な情報を容易に得ることができる 市政運営への理解を深め、行政との信頼関係が構築されている 市政に対する意見を容易に述べられる機会ができる 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 「広報たかやま」、地域FM放送により各種行政情報を提供する CATVの自主放送番組により各種行政情報を提供する 連合町内会単位で「市民と市長の対話集会」を開催し、直接市民の声を聴く 政策検討市民委員会を開催し、市政への提案・提言を受ける
	対象者数	92,097					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 「広報たかやま」を毎月1日・15日に発行し、新聞折込や戸別配布により全世帯に配布 地域FM放送にて地域情報・行政情報・緊急情報等を制作・放送 CATVの自主放送チャンネルにて「ハイ、市役所です」、「飛騨高山情報局」のほか行政情報番組を制作・放送 連合町内会単位で市民と市長の対話集会を開催(7~9月) 政策検討市民委員会を開催 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	成果指標	政策検討市民委員会からの提案・提言数	件	目標値				-
				実績(見込)	0	15	11	
	算出根拠等			達成率(%)				
	活動指標	FMラジオ放送回数	回	目標値	4,320	4,320	3,330	3,330
				実績(見込)	4,882	4,420	3,330	
	算出根拠等			達成率(%)	113	102	100	
	活動指標	CATV放送本数	本	目標値			180	180
				実績(見込)	178	216	200	
	算出根拠等			達成率(%)			111	
	活動指標	市民と市長の対話集会の開催回数	回	目標値	21	21	21	21
				実績(見込)	21	21	21	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100		
成果指標	市民と市長の対話集会への参加者	人	目標値			1,000	1,000	
			実績(見込)	1,012	773	736		
算出根拠等			達成率(%)			74		
成果指標	市民と市長の対話集会での意見数	回	目標値			350	400	
			実績(見込)	368	297	386		
算出根拠等			達成率(%)			110		
補足	<ul style="list-style-type: none"> 様々な情報提供媒体を活用し、それぞれの特性を活かした効果的な行政情報の提供を行っている 市民と市長の対話集会や政策検討市民委員会の開催をはじめ、様々な手法で市民の意見を聴く機会の充実を図っている 							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民がどのような情報をどのような形で得ようとしているのかを詳細に捉えることにより、さらに情報提供の充実を図ることが可能となる 広報広聴については、事業担当課と一層の連携を図りながら、提供情報や市民の意見を聴く機会の充実を図っていく必要がある
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズにあった広報の手法について検討するため、今年度実施する高山市まちづくり市民アンケート調査において、市政情報の入手手段や広報たかやまの紙面に対する満足度など市の広報活動に関する意識調査を実施 情報提供の充実(新鮮、わかりやすい、親しみやすいなど)を図るため、CATV、ラジオにおいて生放送枠を設け、鮮度の高い情報を提供するとともに市民が参加できる体制を構築。また、自動起動防災ラジオのテスト放送内容について、市民が楽しく興味を持って聴くことができるよう、地元の旬の食材を使ったレシピの紹介やワンポイント英会話を実施し、地産地消と国際観光都市としての取り組みを推進 		
次年度の実施方針	担当課評価	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き時代や市民ニーズにあった広報の手法について検討していく 一層の市民の声を聴く機会の充実を図る
		拡大	
		縮小	
		廃止検討	
	二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
		拡大	
		縮小	
		廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23決算額	H24決算額	H25予算額	H26予算要求額
	歳出(千円)		(A)	92,196	92,900	93,904
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	988	1,000	1,020
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	広報紙やラジオ、CATVなどの媒体を利用し、市政情報を市民に提供する。 ・広報たかやまの発行 ・ラジオ番組の制作、放送 ・ケーブルテレビ番組の制作、放送 市民が市政に対する意見を容易に述べられる機会を設ける。 ・「市民と市長の対話集会」の開催 ・政策検討市民委員会の開催	要求のポイント	市民が知りたい情報を迅速に得られるよう、広報紙やラジオ、CATVなどあらゆる媒体から情報発信するための経費を計上 FMやCATVの市政番組については、鮮度の高い情報を提供するとともに、市民が参加できる内容とするために、引き続き生放送による情報発信を実施 市民と市長の対話集会や政策検討市民委員会など、市民の意見を聴く機会の充実に必要な経費を計上	事業実施の課題	事業担当課と連携した更なる市政情報提供(内容、手段)の充実
------	---	---------	--	---------	-------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		93,904	93,004	△ 900	95,624	95,624	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	240	240	0	280	280		
	一般財源	93,664	92,764	△ 900	95,344	95,344		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	20900	総合計画関連事業費	予算	会計 1	一般会計	総合計画	政策 7	構想の着実な推進をめざして	概観計画	市長公約	10	市民のための行政改革を断行します ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすくりに断行します ・効率的な行政運営と経費の縮減のため、市職員以外の第三者を加えて事務事業の検証評価、事業仕訳を行います。
	課			款 2	総務費		分野 2	行政財運営				
担当課	企画管理部 企画課		内線	項 1	総務管理費		基本施策 1	簡素で効率的な行政運営を行う	H26実施計画額	14,600	千円	
			2442	目 9	企画費		施策 1	計画行政の推進				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・第七次総合計画の着実な推進により、都市像「やささと活力にあふれるまち『飛騨高山』」を実現する	概要	事業の実施手法(手段)	・第七次総合計画の進捗管理及び実施計画の見直し・修正を行う ・事業評価の実施による事業内容の点検と改善を行う ・第八次総合計画の策定を行う
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・後期実施計画のローリング ・事業評価の実施及び公表 ・事業評価の実施手法の見直し(評価シートの見直しなど) ・第八次総合計画策定に向けた準備 						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		総合計画実施計画の追加・見直し事業数	事業	目標値 実績(見込)	56	27	2月実施予定	
	活動指標	算出根拠等		達成率(%)				
		事業評価の実施対象事業数	事業	目標値 実績(見込)	813	771	749	
	活動指標	算出根拠等		達成率(%)				
		市民アンケート送付件数	件	目標値 実績(見込)	-	-	3,000	3,000
	補足	算出根拠等		達成率(%)			100	
				目標値 実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値 実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足	・事業担当課との継続した連絡調整の実施により、第七次総合計画の着実な推進に寄与している							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・第七次総合計画の成果等を検証する上では、事業だけでなく政策や施策についても評価していく必要がある ・第三者評価を取り入れた行政評価制度の導入を行う必要がある
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・第七次総合計画の成果を検証するため、事業評価に加え、新たに施策評価を行うこととしており、その中で、市民アンケート調査や外部有識者による評価など、行政以外の第三者の視点を取り入れることとしている ・第八次総合計画の策定に向け、市民、団体アンケート調査の実施などの現状分析を行っている。また、専門的知見を活用した政策形成を行うための外部有識者会議を開催することとしている																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">第七次総合計画の検証をはじめとした現状分析を踏まに第八次総合計画に反映させるとともに、実効性ある総合計画を策定する</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○維持・改善	第七次総合計画の検証をはじめとした現状分析を踏まに第八次総合計画に反映させるとともに、実効性ある総合計画を策定する		拡大		縮小	二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小		廃止検討	
担当課評価	○維持・改善	第七次総合計画の検証をはじめとした現状分析を踏まに第八次総合計画に反映させるとともに、実効性ある総合計画を策定する																
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	126	1,310	11,096	2,822
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1	14	120	31
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・第七次総合計画の進捗管理及び実施計画の見直し ・事業評価の実施 ・第八次総合計画の策定	要求のポイント	・第八次総合計画の策定経費を計上	事業実施の課題	・評価検証が行える実効性の高い総合計画の策定及び運用
------	--	---------	------------------	---------	----------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		11,096	2,822	△ 8,274	2,499	2,499	・積算内容を精査 ・第八次総合計画の策定に必要な経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	11,096	2,822	△ 8,274	2,499	2,499		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	20905	企画関係事務費 (誰にもやさしいまちづくり)	予算	会計 1	一般会計	政策 2	「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	課 1			款 2	総務費		分野 1		
担当課	企画管理部 企画課		内線 2437	項 1	総務管理費	基本施策 2	誰もが安心して暮らせる環境をつくる	実施計画事業	千円
				目 9	企画費		施策 3		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・市民が住みやすく、住み続けたいと思うまちが、訪れる人にとっても行きやすいまちであるという考え方「住みよいまちは、行きよいまち」を、市民・事業者・行政が共有し、すべての人にとってやさしいまちの実現を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・ユニバーサルデザインに配慮して整備された施設やサービスを提供する事業所を「誰にもやさしいまちづくり条例」に基づいて認定する ・誰にもやさしいまちづくり推進会議を開催する ・啓発用パンフレット(一般向け)や学習用パンフレット(市内小学校6年生向け)を作成し、周知する
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインに配慮して整備された施設の認定 啓発用パンフレットや学習用パンフレットの配布 学習用パンフレットの内容を最新の取組事例に更新 						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	誰にもやさしいまちづくり推進会議開催回数	回	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	1	0	0	
	算出根拠等			達成率(%)	100	0	0	
	活動指標	セミナーや視察における講師対応回数	回	目標値				
				実績(見込)	12	6	5	
	算出根拠等			達成率(%)				
	活動指標	啓発用パンフレット作成部数	部	目標値	2,200	2,200	2,200	2,200
				実績(見込)	2,100	1,200	1,200	
	算出根拠等			達成率(%)	95	55		
	成果指標	建築確認における新バリアフリー法への適合件数のうち、誰にもやさしいまちづくり条例に基づき審査対象を拡大したものの	件	目標値				
				実績(見込)	10	11	10	
算出根拠等			達成率(%)					
成果指標	誰にもやさしいまちづくり条例新規認定件数	件	目標値					
			実績(見込)	4	3	5		
算出根拠等			達成率(%)					
成果指標	誰にもやさしいまちづくり条例認定件数(累計)	件	目標値					
			実績(見込)	36	38	43		
算出根拠等			達成率(%)					
補足	誰にもやさしいまちづくり条例に基づき、庁内関係各課において、ユニバーサルデザインに配慮した各種施策が実施されている							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	誰にもやさしいまちづくりの推進に向け、普及啓発の手法を充実させる必要がある
--------------------------	---------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発の方法について検討中 誰にもやさしいまちづくりをさらにすすめる上での課題等について、道路整備、建築指導、福祉等の所管課と協議を実施中
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、啓発用パンフレットを作成し活用する 引き続き、誰にもやさしいまちづくり条例認定件数を増加させるためのきっかけづくりや誘導策等を検討する 条例制定からこれまでの取り組みについて総括し、新たな視点での取り組みの必要性等について検討する
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	381	97	420	420
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	4	1	5	5
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	ユニバーサルデザインのまちづくりを推進する。 ・啓発用パンフレット、学習用パンフレットの作成 ・誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催	要求のポイント	・パンフレット作成、推進会議開催に必要な経費を計上	事業実施の課題	・ユニバーサルデザインのまちづくりをさらに推進するための新たな取り組み
------	---	---------	---------------------------	---------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	420	420	0	420	420		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	20905 2	企画関係事務費 (誰にもやさしいまちづくりを除く)	会計	1 一般会計	政策	7 構想の着実な推進をめざして	根拠計画		市長公約
			款	2 総務費	分野	2 行財政運営	実施計画事業		
			項	1 総務管理費	基本施策	3 地域全体の調和のとれた発展を図る	H26実施計画額	8,100 千円	
担当課		企画管理部 企画課	目	9 企画費	施策	2 あらたな広域連携の推進			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・他の自治体や大学等との連携を深め、多様化する行政課題の解決を図る	概要	事業の実施 手法(手段)	・高山市、飛騨市、白川村による飛騨地域広域行政協議会を開催し、各自治体間における喫緊の課題等について情報共有を行うなど、協議会加盟自治体と連携して共通課題に取り組む ・大学と連携協定を締結し、本市だけでは対応できない課題について連携して取り組む
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨地域広域行政協議会の開催 飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会への参加 連携協定締結大学等の参加により飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業として「オープンカレッジin飛騨」を開催 飛騨地域三市一村と愛知大学との連携・協力に関する協定を締結 						
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
成果面	活動指標	飛騨地域広域行政協議会開催回数	目標値	2	1	1	1
			実績(見込)	2	1	1	1
			算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	活動指標	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会主催事業件数	目標値	7	7	7	7
			実績(見込)	7	7	7	7
			算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	成果指標	岐阜大学フェアin飛騨高山への来場者数	目標値	500		500	-
			実績(見込)	321		236	
			算出根拠等	達成率(%)	64		47
	成果指標	岐阜大学フェアin飛騨高山の来場者アンケートにおける満足度	目標値	80		80	-
			実績(見込)	73		79	
			算出根拠等	達成率(%)	91		99
成果指標	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会主催事業への参加人数・来場者数	目標値	42,000	46,000	47,000	47,000	
		実績(見込)	46,410	47,428	47,000		
		算出根拠等	達成率(%)	111	103	100	
補足			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携について、さらなる充実を図る必要がある 各自治体間の連携について、さらに効果的な手法を検討する必要がある
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会については、事業内容を拡充 	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、庁内各部署とともに、大学連携事業の充実を図る 各自治体間の連携について、連絡調整体制を強化し、広域的課題を解決するための効果的な手法を検討する
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
○ 拡大		
○ 縮小		
○ 廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	8,615	8,140	8,611	8,730
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	92	88	93	95
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨地域広域行政協議会の開催 飛騨・世界生活文化センターの活用推進 協定締結大学との連携事業の推進 	要求のポイント	・大学との連携事業推進や飛騨センターの活用推進に必要な経費を計上	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携の内容の更なる充実 各自治体との更なる効果的な連携手法の検討
------	---	---------	----------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	8,611	8,730	119	8,730	8,730	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	8,611	8,730	119	8,730	8,730		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	25100	統計調査事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の着実な推進をめざして	根拠計画	市長公約
				款	2	総務費		分野	2	行財政運営		
担当課	企画管理部 企画課		内線	項	5	統計調査費		基本施策	1	簡素で効率的な行政運営を行う	実施計画事業	統計調査事業
		2436	目	1	統計調査総務費			施策	1	計画行政の推進	H26実施計画額	200 千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 統計的視点から市の現状を理解する 統計調査結果を研究活動等様々な分野で活用する 政策立案の基礎となる統計調査業務の円滑化を図る 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査に従事する調査員を確保するとともに、調査員の資質向上のための研修を実施する 各種統計における高山市の数値を取りまとめ、「高山市のあらし」として公表する
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査員の確保 統計調査員研修会の開催 「高山市のあらし」の印刷・発行、市ホームページでの公表 「高山市のあらし」の掲載項目の見直し 						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		「高山市のあらし」の発行回数	回	目標値	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1		
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	「高山市のあらし」の発行部数	部	目標値	150	150	150	150
		実績(見込)	150	150	150			
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	統計調査員確保数	人	目標値	89	70	141	400
		実績(見込)	89	70	141			
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
活動指標	統計調査員研修会実施回数	回	目標値	1	1	1	1	
	実績(見込)	1	1	1				
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
補足			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 「高山市のあらし」については、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する必要がある
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 「高山市のあらし」について、掲載項目等の検討を行っている 各種統計調査の結果(速報値や確報値)を市のホームページから閲覧できるようにした 		
次年度の実施方針	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する ・「高山市のあらし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	
		(担当課評価に同じ)	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	131	117	140	140
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1	1	2	2
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	統計調査業務の円滑な遂行を図る。 各種統計調査結果を取りまとめ分析し、行政運営や施策の立案に必要な基礎資料を得る。 ・「高山市のあらし」発行 ・統計調査員確保対策事業(統計調査員の資質向上のための研修会開催等)の実施	要求のポイント	円滑な統計調査業務の実施や「高山市のあらし」発行に必要な経費を計上	事業実施の課題	調査結果のさらなる有効活用
------	---	---------	-----------------------------------	---------	---------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	140	140	0	140	140	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	27	27	0	27	27		
その他			0				
一般財源	113	113	0	113	113		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	25600	階級別 階級 内線 2436	予算 内線 2436	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の着実な推進をめざして	根拠計画	市長公約	
				款	2	総務費		分野	2	行財政運営			
担当課	企画管理部 企画課			項	5	統計調査費		基本施策	1	簡素で効率的な行政運営を行う	実施計画事業		統計調査事業
				目	2	諸統計調査費		施策	1	計画行政の推進	H26実施計画額		14,800 千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	各分野における諸事象を把握し、実態を明らかにすることにより、各種行政施策に必要な基礎資料を得る。	概要	事業の実施手法(手段)	国・県が行う統計調査事務を受託し、滞りなく実施する。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	就業構造基本調査、住宅・土地統計調査(単位区設定)、経済センサス-活動調査(審査)、工業統計調査の実施						
成果面	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
			目標値				
	実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)				
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
			目標値				
	実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)				
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
			目標値				
	実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)				
指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
		目標値					
実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)					
指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
		目標値					
実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)					
指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
		目標値					
実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)					
補足							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
二次評価		維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	6,071	3,896	8,200	20,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	65	42	89	217
	受益者	全市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	各分野における諸事象を把握し、実態を明らかにすることにより、各種行政施策に必要な基礎資料を得る。 ・経済センサス-基礎調査 ・商業統計調査 ・全国消費実態調査 ・平成27年国勢調査調査区設定 ・工業統計調査 ・岐阜県輸出関係調査 ・2015農林業センサス	要求のポイント	各統計調査業務の円滑な実施に必要な経費を計上	事業実施の課題	各統計調査の十分な実施体制の構築
------	--	---------	------------------------	---------	------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		8,200	20,000	11,800	20,000	20,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	8,200	20,000	11,800	20,000	20,000		
	その他			0				
	一般財源			0				